

洋種枝物ヒペリカムの作期拡大技術

福島県農業試験場 いわき支場
平成16年度農業試験場試験成績概要

1 部門名

花き－その他の花木－作型・栽培型
分類コード 05-29-18000000

2 担当者

矢吹隆夫・諏訪理恵子

3 要 旨

本県には有望な枝物品目としてヒペリカムが導入されているが、出荷期間が短いことなどが問題となっている。そこで、出荷期間の拡大を目的とした施設栽培（電照無加温）および露地における摘心栽培について検討し、以下の成果を得た。

- (1) ヒペリカム施設栽培の切り枝時期は、7月上～中旬頃であり、露地栽培の7月下旬と比べて10日程早い。
- (2) 施設栽培における切り枝は、切り枝長が長く、葉焼け症状の発生が少ない。
- (3) 露地栽培において5月下旬～7月上旬に摘心すると、切り枝時期が8月上旬～9月下旬と遅くなる。摘心する位置が低いと、より切り枝時期は遅くなり、切り枝の姿は分枝が伸長した形状となる。

4 その他の資料等

なし